

2023

令和5年8月24日

第33号

(通算79号)

IBARAKI Prefectural Junior College of Industrial Technology

IT短大VIEW!

2026年、県立IT短大は「大学校」に変わります。



1 手厚いインターンシップ

株式会社 東日本技術研究所
East Japan Institute of Technology Co., Ltd.

株式会社 東日本技術研究所

本校のインドネシア留学生が夏季休業中にインターンシップでお世話になっているのは、「株式会社東日本技術研究所」です。JR大甕駅前に社屋があり、近くに青い海と空に映える日立灯台があります。



(左から)今橋達之助さん、ディアナさん、シハブさん、宗像齊士さん

この日、担任の石川広幸講師が訪ね、インドネシア留学生のシハブさんとディアナさんの取り組みについて、お聞きしました。

管理部課長補佐の宗像齊士さんは、「とても礼儀正しく優秀な学生さんです」と笑顔で話されました。また、流暢な日本語で話す二人はコミュニケーション能力も高いと評価頂きました。本校については、「県内に専門力の高いIT人材を輩出しており、学生さんのレベルも高い」と話されていました。

「Be Happy Together!」を合言葉に人材育成に力を入れている企業で、次代を担う若者に、IT業界に興味を持って欲しいと、若手技術者による出前授業も展開しています。石川講師は「手厚い5日間のインターンシップに感謝しています」と振り返っていました。



青い海と空に映える日立灯台



JR大甕駅側に聳える社屋



シハブさんに声を掛ける石川広幸講師

熱心に作業を進めるディアナさん

2 未来のICT人材 集う②

水戸市内の小中学生を対象にした『ICTエキスパートコース』（主催：市教育委員会）が開催されました。

ICTエキスパート成果発表会



成果発表会の様子



↑ 成果発表の資料をまとめる参加者

このコースは全5回のプログラムで実施され、最終日の8月9日(水)に学習のまとめとして、グループごとに成果発表会が実施されました。

これまでに様々なプログラムを学び、ロボットやドローンを制御できるようになりました。また、昨今注目されているAIについても楽しく体験してきました。

成果報告では、3つの項目（何をしたの、何ができるようになった、どう役立つの）をグループで協議し、模造紙にまとめていました。参加者からは「ドローンを活用して、災害地に物資を届けたい」、「生活や社会に役立てたい」と話していました。

3 少しでも綺麗に!

養成訓練推進員の西野和幸さんは、本年度18校の進路説明会に出席しています。

説明会では、本校の魅力を伝え、オープンキャンパスの参加をお願いしています。

この日、8月26日(土)に実施されるオープンキャンパスに向け、除草を行っていました。西野さんは「少しでも綺麗にしてお迎えしたい」と息を弾ませていました。



除草風景



茨城県立産業技術短期大学校

URL <http://www.ibaraki-it.ac.jp/> E-mail: kyoumu@ibaraki-it.ac.jp

〒311-1131
茨城県水戸市下大野町6342
電話029-269-5500

